



目次

0. 賃貸住宅の概要

1. デザイン重視のワンルームにおける収納確保

間取りでの長所を活かし短所を工夫により快適に変える

1) キッチン

い調理スペースの確保（まな板の設置位置と収納場所）

ろ食器洗い後の乾燥までの置き場（水切りかご）の確保

はキッチン用品の収納スペースの確保

にゴミ置き場（分別）スペースの確保と動線

ほ家電製品（炊飯器・電子レンジ・オーブン・ポット等）の適切な配置

へ食器の使いやすい置き場の確保

と調理器具の置き場と蒸籠の置き場



柱のスイッチに腰掛けるクマちゃん

2) ダイニングコーナー

3) リビング・ワークコーナー

4) ピクチャーウインドウのカフェコーナー

5) ベッドコーナー

6) 洗濯物干しコーナー

7) 玄関ホール

2. 置き家具としての対応と制作方法

1) キッチン

2) ダイニングコーナー

3) リビングワークコーナー

4) ピクチャーウインドウのカフェコーナー

5) ベッドコーナー

6) 洗濯物干しコーナー

7) 玄関ホール

3. 各置き家具の耐震の為の工夫

4. 制作費用

5. 制作及び設置日数

6. 使いやすく心地よい部屋作りのポイントと遊び心

7. まとめ

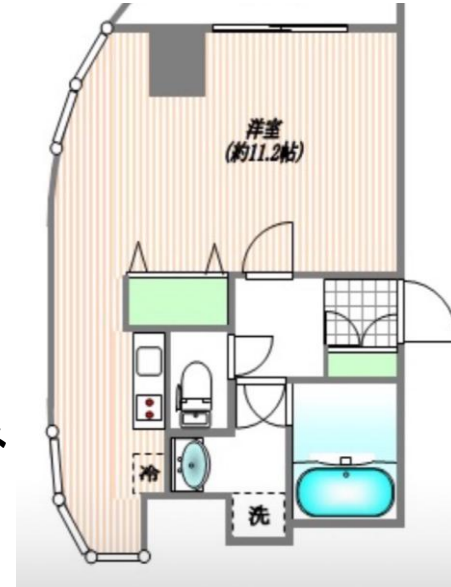


キャスター付き折りたたみテーブル・机



賃貸住宅の概要

立地	: 駅徒歩1分の好立地
階数	: 五階建ての3階でエレベーター付
セキュリティ	: オートロック付
床面積	: 30.72m ² (9.29坪)
収納面積	: 0.93m ² のクローゼット1か所と下駄箱のみ
特徴	: 窓の多いデザイナーズ賃貸ワンルーム



生活する上でのポイント : 収納スペースの確保が出来るかどうか、心地よい生活ができるかを決定する。収納上級者向けの賃貸住宅といえる。



対策



: 各コーナー毎に収納スペースを『造作置き家具』の設置で収納量を確保する。



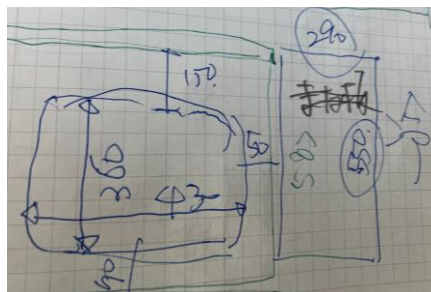
1.デザイン重視のワンルームにおける収納確保 間取りでの長所を活かし短所を工夫により快適に変える

1) キッチン

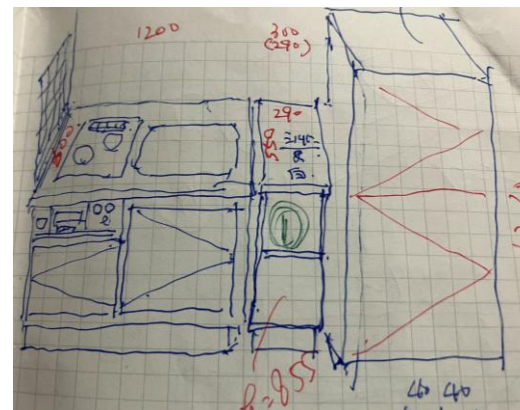
調理スペースの確保：
120cmミニキッチンと冷蔵庫の間の29cmの隙間に棚板を設置。
ステンレスカウンターと高さを合わせて段差を作らない。

工夫：
・隙間をアルミテープで接着し水の滴りを防止する。
・奥と冷蔵庫側に水返しの立ち上がり段差を付け防水処理をする。
・棚板下部に空間を確保して ゴミ置き場スペースとする。

結果：
キッチンカウンターと棚板を合わせて
・手前にて調理スペースの確保（まな板を設置できる）
・奥に水切り籠の設置スペースの確保
・下部にゴミ置き場の確保。



現場採寸して
ラフスケッチ
する



は キッチン用品の収納スペースの確保：

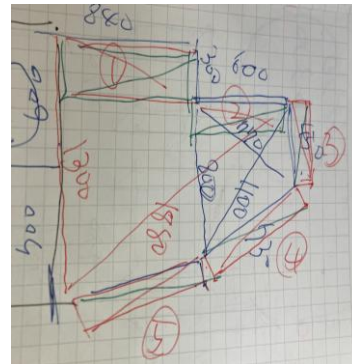
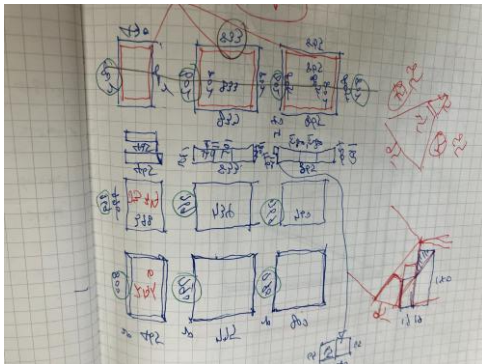
- ① バックセットの位置に三連の上下窓があり、下部の窓を収納スペースに変更。
窓の採光条件は窓を塞いでも問題ないため、下部窓3か所を塞ぎ窓枠内側に棚板を設置

工夫：奥行15cmの可動棚（高さ調整はダボレールにて調整する。）
高さ80cm幅80cm奥行15cmのスペースに棚板を4段設置する。2か所
高さ80cm幅38cm奥行9cmのスペースに棚板を4段設置する。

結果：奥行15cmで高さは任意の収納スペースが
80cm×4段×2箇所＝6メートル40cm分、確保できた。
奥行9cmで高さは任意の収納スペースが
38cm×4段＝152cm分確保できた。



バックセットの位置に三連の上下連装窓
下部の窓枠内に薄型数能を設置」



- に
- ② 冷蔵庫右側に収納棚を作成（高さ173cm幅52cm奥行15cm）
下部をゴミ置き場とする。
上部の棚板は固定棚とする。
向かい合わせの窓利用棚板収納の上部に台形の棚板を現場合わせにて作成。
- ち
- ③ 窓収納上部に蒸籠を干すためのバー（丸鋼鉄筋9φをアルミテープでまく。）
を設置。Sカンを設置して調理器具等がかかるスペースを確保。

